地球環境保全活動団体交流会　匠の環 2016.12.21

ア ン ケ ー ト 集計結果　　回収数：４２

１．発表・展示団体、ゲストトークの中で参考になった団体はありましたか。（複数選択可）

・奈良市地球温暖化対策地域協議会（７）
・斑鳩町地球温暖化対策地域協議会（７）
・生駒市環境基本計画推進会議（１６）
・亀岡カーボンマイナスプロジェクト（４）
・市民節電所ネットワーク　（２）
・ならコープでんき（２）
・エコライフかしはら（１）
・NPO 法人ほっとねっと（８）
・宇陀ランチ・プロジェクト（２０）
・谷林業株式会社（２１）
・吉野小水力利用推進協議会　（３）
・ならコープ（２）
・NASO 省エネルギーワーキンググループ（１）
・市民エネルギー生駒（環境大臣賞優秀賞受賞）（１）
・大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク協議会（１３）
・奈良県立御所実業高等学校環境緑地科（１）
・一般社団法人自然再生と自然保護区のための基金（１）

参考になった内容を具体的にお書き下さい

・地産地消がエコでビジネスにもなる（京都炭素貯留運営委員会）
・節電の参考になりました。（NASO 省エネワーキンググループ）
・再生可能エネルギーの活用の可能性が良く分かった（吉野小水力推進協議会）
・新電力の取り組みがよく分かった（ならコープでんき）
・水車の実物展示。ポスターだけと違い、肌で実感できる（吉野小水力利用推進協議会）
・吉野町の中山間地という地域性、資源を生かした再生可能エネルギーのベストミックスを地域の人々が取り組んでいる。（吉野小水力利用推進協議会）
・繰り返し使う交換会、すぐに捨てないで物を大切にする事（斑鳩町地球温暖化対策地域協議会）
・シカの害によって森林が破壊されていたのには驚く。再生への取組に期待
・若い人達との連携　他団体との交流　必要なことですね
・活動を世代をまたいで広げていくことが大切

２．交流会　たくみかふぇ　について（複数選択可）
　該当するものに〇をおつけください。

□交流会であらたな気づきや出会いがあった（２７）
□参加者に自分の活動に興味を持って貰った（８）
□参加者からのアドバイスは今後の活動に役立つ（１５）
□協働したい団体と出会えた（１）
□その他具体的に

・CO2 の数値化
・今後の活動に役立つようなアドバイスばっかりだったのでいい勉強になりました。
・奈良市地球温暖化対策地域協議会（NEW）と学校とのコラボは大変おもしろい取組
・宇陀ランチの方とお話ができよかった。エールを送ります。
・団体と学生相互の winwin の関係構築がポイント
・斑鳩町の分別集めの仕方、いかに燃やす物を少なくしていくかを町の取り組みとしていること。

・京都炭素貯留運営委員会の田中さんから講演では説明されていないことがたくみかふぇで知ることができた。
・気軽に山をハイヒールでとのお話しに感じ入りました。精神を病んでいる人が子どもの居場所作りにと身近に感じられました。（谷林業（株））

3. ゲストトーク、その他参考になったことがあればお書きください。
・田中さんのところの取り組みはまさにどこでも実現可能なすばらしい仕組みだと思います。パテント等は具体的にどのような手続きで利用できるのでしょうか。
・事業化してすすめられている事例を伺えてよかったです。
・亀岡市の取組は大変すばらしく大いに参考になった。
・産・官・学と連携して取り組みがすばらしい。また、官も環境部門のみならず、農業分野等にも横のつながりがあるのはすごいと思う。
・エコ商品や農産物のブランド化が非常に大切だと感じた。
・食から脱炭素。人間誰しも関わる場。ゆえにそこから減らせるというのは良いことと思いました。
・同じ野菜を年間を通してするにはいろいろな問題がある。それをクリア出来ないと難しい。
・クルベジという言葉をはじめて聞きました。生駒にもあればぜひ買いたいと思います。
・町内、市内の取り組みに市政がかかわることの大切さ
・放棄竹林の対策、行動を変える、地域愛と誇り、いいお話でした。
・産・官・学というか、それを巻き込み、機能させ、効果を上げていることは見習うべき
・亀岡カーボンマイナスプロジェクトの生産者・消費者・企業も加えて社会的、経済的にサイクルしていること。
・亀岡カーボンマイナスプロジェクトの活動は、今世紀末の排出と吸収のバランスを取るというパリ協定の目標の主要な技術となりうる可能性があると感じた。
・炭素の貯留も自然の循環に任せたほうがよい（人工的な炭素貯留技術には疑問を持っている）。
・二酸化炭素排出削減、経済性効果が高いバイオ炭づくりで成果を上げている農地の地力を改善向上ができたこと。

4. 交流会で実施して欲しい内容や、その他、ご意見ご感想等があればお聞かせください。
・田中さんに質問できればよかった。
・他の団体などの話を聞けて非常に良い刺激になりました。
・奈良市地球温暖化対策地域協議会（NEW）&奈良県立大とのコラボ活動についていろいろご意見や感想をいただいて良かった。
・斑鳩町のゴミ減量取組、亀岡カーボンマイナスプロジェクトなど
・多くの団体・機関の活動が良く分かった。
・脱炭素社会を実現するために必要なことを具体的に知ることができた。
・活動の成果がしっかり分かるかたちで、プロジェクトの優先順位をつけるべき。もう話し合ったり考えたりする段階は過ぎ、実行あるのみだと思う。そうしたら達成できるかも。
・環境問題だけで動くのはなかなか難しく、食品のゴミ問題と温暖化問題を組み合わせることに進めるような気がする。フードバンク、子ども食堂との連携が必要では。
・「CO_2 削減」と大上段に振りかぶらなくても、好きなことをしていて、結果的に温暖化防止になっているという、自然体の活動が参考になった。